

全ての住民の暮らしを地域で支える医療とケアのネットワークの構築を！！

大阪地域医療ケア研究会 第6回研究大会

暮らしの中で生き、暮らしの中で死ぬ — 一 家族・介護・看護を考える —

団塊の世代が高齢化していく中、年間の死亡者数が増加します。そのピークは2038年と予想されています。大阪地域医療ケア研究会では、「2038年度問題を見ずえて、終末期医療と介護を考える」という年間テーマを設定して考えてきました。

今回の研究大会では、暮らしの中で生まれ、暮らしの中で生き、暮らしの中で亡くなっていくことの意味を考えながら、医療従事者と介護従事者がどのような役割を果たせばよいのか実践報告を行います。又、在宅における看取りケアの現状や地域における施設の役割について問題提起します。

また、その人らしい暮らし方の実現には、家族介護に頼らない「介護の社会化」が不可欠です。変容していく家族と地域の中で私たちはいかに少子高齢化の時代をしたたかに生きるかを考えたいと思います。

2008年3月9日(日)

時間・10:00～16:20
場所・ヒューマインド

大阪府福祉人権推進センター 地図は裏面です

主催・大阪地域医療ケア研究会

共催・在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

対象者 地域医療に関心のある医療・福祉・介護従事者の方、一般市民の方

参加費 会員2,000円(後援団体は会員扱いです)
会員3,000円

記念講演 14:15～16:15

少子高齢化を したたかに生きる



講師 樋口 恵子

高齢社会をよくする女性の会理事長
東京家政大学名誉教授

(プロフィールは裏面を御参照ください)

基調講演 10:15～10:35

「暮らしの中で生き、暮らしの中で死ぬ」

講師 中嶋啓子

大阪地域医療ケア研究会会長

実践報告 10:35～12:10

報告の5団体は、裏面に記載しています

問題提起 13:05～14:05

「ますます高まる施設での看取りと

在宅支援機能の役割」

講師 川合 秀治

全国老人保健施設協会会長

「在宅医療の推進と看取りケアの現状」

講師 川島 孝一郎

在宅医療推進会議・仙台往診クリニック

後援 大阪府・大阪市・大阪府医師会・大阪府病院協会・大阪府私立病院協会・大阪精神科病院協会

当研究大会は、2008年9月14日～15日に開催予定の在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワークの「全国の集いin京都 2008」のイベントとしても位置づけて行われます。そのため、在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワークとの共催としておりますので、多くの方の御参加をお待ちしています